

ゴーヘッドス 速報

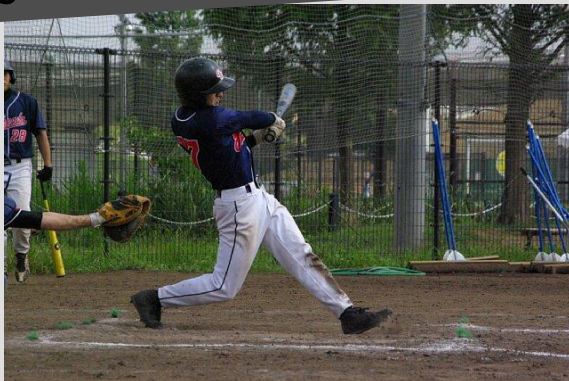
Goaheads

第21号 平成25年7月27日

ゲームを作れバッテリー！！

目的の明確化が勝利を掴む！

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	0	0	4	0	0	0	4
R	1	1	0	1	0	0	0	3



7/27(土) 我々のVictoriaマートナウトを新横浜公園野球場に向き、川崎アースとの1回戦を戦った。過去1度対戦は有るが、若いチームだけに、序盤リズムに乗らせないよう、立ち上がりが重要と感じるゲームである。今日のマウンドは達脇、最近四球の多さ及び球数に難があるだけに、今日の立ち上がりが気になる。そんな立ち上がりは、2球で一死を得る。今日は良いか？と思った次打者へは、今度は、ボールが先行し結果四球で出塁、その後二盗を決められる。三番は見逃し三振に斬り、二死二塁とスコアリングに走者を背負う。そして、4番に投じた2球目をセンターに弾き返され1点を先制された。その裏の攻撃、先頭の哲也が四球を選択し出塁、次打者は倒れ一死となったが、三番光希の打球はショートへの内野安打、これで、一死一・二塁と同点チャンスを作る。ここで、初めて4番を任された暢造が初球を迷い無くスイング、打球はセンターオーバーの2ベースで一塁二塁より哲也が生還し同点、しかし、一塁よりホームを目指した光希は、ホームで後一歩のところまでアウト、続く祐太郎が四球を選び出塁、その後、二盗を試みたところ、挟殺崩れを誘う走塁、これを暢造が見逃さずホームインし、逆転に成功した。しかし、翌2回の相手攻撃、先頭打者を四球で出塁させる。その後二盗を決められ、またもや場面は走者をスコアリングに背負う展開。しかし、次打者は見逃し三振に斬り、一死とするが、後続はショートへの打球、これが送球エラーとなり、一塁二塁より走者が生還、さらにホームで刺そうとした送球が逸れ、この間にバッターランナーが一塁生還し、2点目を与え、逆転を許してしまった。その後も安打で走者を出したが後続を抑えこの回を2点に抑えた。続くその裏の攻撃、急遽相手投手が制球を乱し、7番から1番まで4連続四球を選択且つ押し出しで同点とし、ここで相手投手が交代、そしてこの無死満塁の局面に智が打席に入る、彼に出された指示は初球スクイズ、やや高めめの投球に対し、きっちり智が反応しまたまた逆転に成功する。三番は倒れたが4番が四球を選択しこの回2点目の押し出し、続く祐太郎の内野ゴロの間に三塁より哲也が生還し、この回無安打、5個の奪四球、WP、スクイズで4点を挙げ、今日の勝利を引き寄せた。しかし、まだびりっとならない、先発の投球、一死を得るが、2打者連続で四球を与え出塁させる、更にDSを決められ、この守備の間に今度は、無安打で失点した。しかし、ファールボールを奪取よく捕球した祐太郎、ライトの泉の好捕によりその後の失点は許した。この3回を終えた時点で1時間20分を費やす大味な今日のゲーム、これに幕を閉じたのは、4回の攻撃、先頭は倒れ一死となったが、光希・暢造の2連続三塁打で1点を追加、更に祐太郎の内野ゴロを失策し、この回に2点目、更に次打者の内野ゴロ及び三盗で、二死三塁とした。この場面に今日2連続四球を選択している深沢が、3球目をセンター前に適時打を打ち今日のゲームを勝利した。今日のゲームを振り返ってみると、やはり大味な感否めない。

先発は4回しか投げていないのに、与四球5は多過ぎ、更にその出塁した走者に対し許した盗塁数は6個、これで、安打でも絡めば大量失点、若しくは敗戦という結果になる。やはりバッテリーを中心に与四球を減らす工夫、進塁を減らす工夫をしなければ、上位との戦いには、勝利は期待出来ないであろう。塁への送球はノーバウンドをこだわるのではなく、捕球してからの送球時間の短縮及び力強い送球をするかが、盗塁を阻止する事に繋がってであろう。あの古田もノーバウンドより、ワンバウンドの方が早い事が往々に有ると。ただ、力弱いバウンドは結果は同じであるが、打線に於いては、今日は及第点と言える。叩く意識の表れが打ち上げの少なさに繋がっているし、無安打で得点する事も出来ている。これからも様々なチームと対戦するが、自身の力を如何無く発揮し、更にチームの雰囲気や士気を良くしよう。チームの雰囲気は、結果が良いから雰囲気や士気が良くなるのではなく、士気や雰囲気が良いから、結果が生まれるというサイクルがチームに浸透するように！